



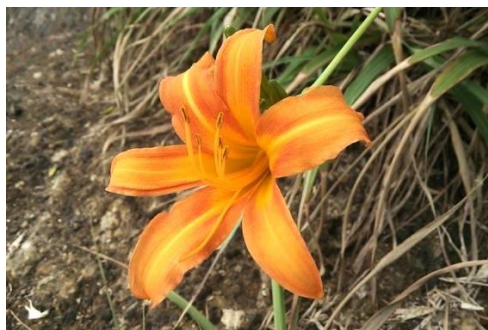
# Ocean Family News

…… 海は楽しい 海はすばらしい 海は大切 ……

2014  
Autumn  
Vol.051

## Contents

ハマカンゾウ



屋間は暑い浜辺も秋の装い。鮮やかなオレンジ色のハマカンゾウが咲き出した。これからハマギクも咲いて、さらに美しく彩を添えてくれるだろう。

事務局からのお知らせ

われら海洋族

ちよくさんとみきままの対談コラム

三宅島サマースクール 2014

いきもの便り

イベント紹介

リーダー・ボランティア募集 編集後記



## 事務局からのお知らせ

植樹祭開催 参加者募集中！

川を通して山と海は密接につながっています。川によって運ばれる森の栄養のおかげで、相模湾には多くの海洋生物が生息します。豊かな海を育むために、豊かな森をつくる活動をみなさんと共に進めていきたいとおもっています。

今回は、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーン財団の「海を守る植樹教育事業」の助成を受けて行います。

＜豊かな海を育む森づくり 植樹祭＞

日時：10月11日（土） 14:00～16:00

予備日：11月15日（土）

開催場所：湘南国際村めぐりの森

参加無料、どなたでもご参加いただけます。

現地集合、解散（詳細は本センターHPで）

主催：B&G 葉山海洋クラブ

共催：NPO 法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター

森と畑の学校（代表 石井裕一氏、農業生産法人パラダイスフィールド代表 伊藤力氏）

B&G 財団「海を守る植樹教育事業」助成事業



## ちよくさんとみきママの対談コラム 後編

ちよくさん

「次は『今！関心のある事。』です。私が3年前から取り組んでいる、里山再生と後継者の育成ですね。」

みきママ

「里山再生はともかくとして後継者の育成って・・・まだ若いのに。」

ちよくさん

「うん！まだエネルギーはあるんだけど、あるうちに後継者を育てていきたいんだよ。それと時代は以前より物凄く速いスピードで流れている。1年前の常識が通用しなくなっている。その点、若い人達はなんなくそのスピードについていっている。観点も鋭いよね。現在、みきママと埼玉県鶴ヶ島市で「チーム PROGRESS」のサポーターをやっているけど、大分市民のお役に立てていただいている、いろんな場面でセンター的役割ができるようになってきたよね。」

みきママ

「それは言えるね。」

ちよくさん

「うん。これからの時代は彼等のもの。それをベテラン組がなんでも決めるのはおかしいでしょう。それと早く後継者が出来れば、もっと海に来れるようになるしね。」

みきママ

「二人とも、それが狙いだったりして（笑）。」

ちよくさん

「里山再生は前から取組みたい題材だった。オーシャンファミリー（OF）でも着手しているから。今後も楽しみだよ。鶴ヶ島では刈払機を振っているか、チェーンソーで間伐やっているかだね。暗い森に日が差し込む時は感動だよ。みきママはどう？」

みきママ

「今、一番の関心あることかしらね。やっぱり、きっかけになったのは、震災なんだけど。社会貢献活動かな。また、ザックリすぎるとか、言われそうなんだけれど。自然環境はもちろんね。川の再生とか、ちよくさんが言うところの『人の育成』も大事なことだよ。職場で自分の子どもより年齢が下の人たちと働いていて、色々と感じることがあるんだけど、個々人の意識の向上は大切なことよね。若い世代の人達に自然の中でたくさんの体験をしてもらって、環境に関心のある人たちを育てたいな。経験を積まないと、関心は持てないと思うので。」

ちよくさん

「なるほど！冗談とかじゃなくて、若者の環境意識を向上させるために、OFで企業研修などに積極的に取り組んでもらうのもいいかも。」

ちよくさん

「三浦半島沖で発生した貨物船沈没事故。当日はクイーンエリザベスⅡ号の横浜出港で横浜港にいたんだよ。まさかの事故だった。そして頭に浮かんだのが燃料の重油は大丈夫か！だったなあ。ほどなくして三浦に重油が着岸していると聞いて、ナホトカ号の惨状が浮かんだよ。」

みきママ

「ナホトカ号の重油流出事故の重油除去ボウで活動したんだよ？」



## われら海洋族

ちよくさん

「うん。全身に重油の匂いが染み付いてねえ。海鳥の体に着いた重油を丁寧に除去したり、柄杓で地道にすくったよ。あの惨劇が神奈川でもと思うと慌てた。でも、報道であまり騒がないし、無関心なのかなあ。それとも今は調査中なのかなって・・・考えてしまった。そんなとき、みきママが『視察だけでも行くべきじゃない、無駄足だったら嬉しいし』って言うから、県立三浦ふれあいの村の下に広がる和田長浜海岸の獅子岩近辺までを調査したら、あるわ！あるわ！岩や砂にベトリだったね。」

みきママ

「重油なんて見たことなく、ナホトカ号の時はテレビで見ただけなので、被害が無ければいいなという気持ちで終わっていたけれど、今回、岩や崖、海藻などの漂着物に付着しているのを見て、これが重油かって思った。その時は、除去したい気持ちを押しさえるのが辛かったな。ちよくさんに、『今回は、保険会社が行政等と打ち合わせをして、どのような対応をしていくのかが決まらないと、集めてもどうにも出来ないんだよね。まだ、保管場所すら決まっていないのだから』って言われたから。」

OBCC（オーシャンファミリーの定期海岸清掃）に参加させてもらったとき、地元の漁師さんから漁協の話を聞いて、本当に難しい問題なんだって考えさせられたんだよね。（今年はヒジキ漁を取りやめる話）

世の中、便利になったけれど代償もあるんだなって。

海には、たくさんの生物が棲んでいて、海の近くには人が生活している、人は海の生きものを生活の糧にしている。ようするに、海（自然）と人はつながっているということで、人為的な事故によって、大きな問題が生じる。こういうことがないことを願うばかりだよ。」

ちよくさん

「重油除去活動の時は、正直に言ってあんなに人が集まるなんて思わなかった。そこでも『みんな自分達の海だから当然！』って言っている顔がかっこよかった！

以上です。これからも3時に起きて、埼玉から葉山の海と山に行きますよ！川の側に暮らす人が環境をもっと考えていかないと海は楽しいものとならないから。最後に、ジャックさん（世界的に有名だった海洋生物学者ジャック・T・モイヤー博士）が伝えたかったことを、私達がしっかり受け継いでいけるように、これからはオーシャンファミリーの名とおり、素敵な仲間達とずっと過ごしていきたいなあ！」

みきママ

「いつか海の近くに住みたい！っていう気持ちで、埼玉から通わせていただきます。オーシャンファミリーの仲間みーんな大好きだから。素敵な出逢いに感謝です。」



休耕田の活用！



流れ着いた重油



重油流出後、葉山の海岸にて



## 三宅島サマースクール 2014

mari

8月1日～6日に開催された三宅島サマースクールに今年も参加してきました。

スタッフとして参加するのは今年で3年目ですが、約20年前は私もスクール生の1人として三宅島に通っていました。

今年のサマースクールは台風11号の影響で入れる浜が限定され、残念に思える部分もありましたが内容としては例年通りとても濃いものだったように思います。

特にスキングダイビングの技術の向上には目を見張るものがありました。

サマースクールお馴染みの長太郎池は海況が悪く、1度も入ることが出来ませんでした。そのお陰で(?)ある程度水深のある場所での観察が必須となり、みんな上手に潜れるようになりました。1人が行くと次から次へと後に続く。

知らず知らずのうちに楽しみながら子ども達の技術が向上していく様子は頼もしいものでした。

加えて、今年の参加者はみんなとてもよく魚の勉強をしました。

毎朝8時半ごろ宿を出て、戻ってくるのは17時ごろ。

それまで海で体を動かしているにも関わらず、夜は10時過ぎまで図鑑片手にフィッシュリストの作成に没頭しました。

その日見た魚の復習や、うんぱぱの解説はスタッフも目からうろこ。

入ることの出来る浜に限られていたにも関わらず、65種の魚類を観察することができました。

そしてサマースクールのはじめにみんなが楽しみと言っていたドルフィンスイム!

泳ぎの練習もたくさんして心踊らせて三宅島・坪田港を出港したものの、台風の影響でドルフィンスイムの出来る場所ではイルカを見つけることが出来ず、やっと見つけた2頭は入るのが難しい場所にいたので今回は断念という残念な結果となりました。

しかし、あれほどイルカを楽しみにしていた子供たち!

文句が出るかな～、と思いましたが、しっかり自然の状況を理解し、納得していたことには驚きました。船酔いを含め、自然の厳しさを全身で感じる事が出来たようです。

イルカと泳げるのは今回が最後ではありません。まだまだチャンスはたくさんあるので、その時がきたらきっと最高のドルフィンスイムが出来るでしょう♪



イルカに会えず、みんなどんより…



イシダイの幼魚を見つけたよ!



そんな6日間を過ごしていると、20年前のサマースクールを思い出します。

当時は、モイヤー先生のおうちにみんなで雑魚寝、海から上がればたまには温泉、でもほとんどは先生のおうちの外についている水のシャワーを浴びておしまい！というスタイルでした。

ボロボロのおうちは床が抜けたり、大きなムカデが寝ている横を通ることは当たり前。

夜には屋根裏でねずみの運動会がはじまったり、隠し持っていたオヤツのせいでカバンの中が蟻だらけ…なんてこともありました。もちろんエアコンなんてありません！

朝起きたら鳥の声を聞きながら散歩へ行き、昼間は海三昧、夜は星空観察やナイトシュノーケリングを楽しんだことも！

今だって島の自然は偉大に見えるけれど、そのころはいろんな事が今よりもっと大きく新鮮で、帰るころには五感を通じて入ってくる島の自然で全身が満たされたのを良く覚えています。

1番の思い出は富賀浜でのシュノーケリング。

島の人でも年に何回入れるか？というぐらいいつも荒れていてなかなか入ることのできない富賀浜。条件が揃って入れた時の思い出が素晴らしすぎて、記憶の中で多少誇張されているとは思いますが、まさに私の原風景。テーブル珊瑚が群生し、魚は他のポイントで見ると見るよりも大きいものばかり！

透明度も最高で、海の階層が何層にも見えて、地球上にこんなに素晴らしい場所があるんだ！と感動したものです。

そして、モイヤー先生。

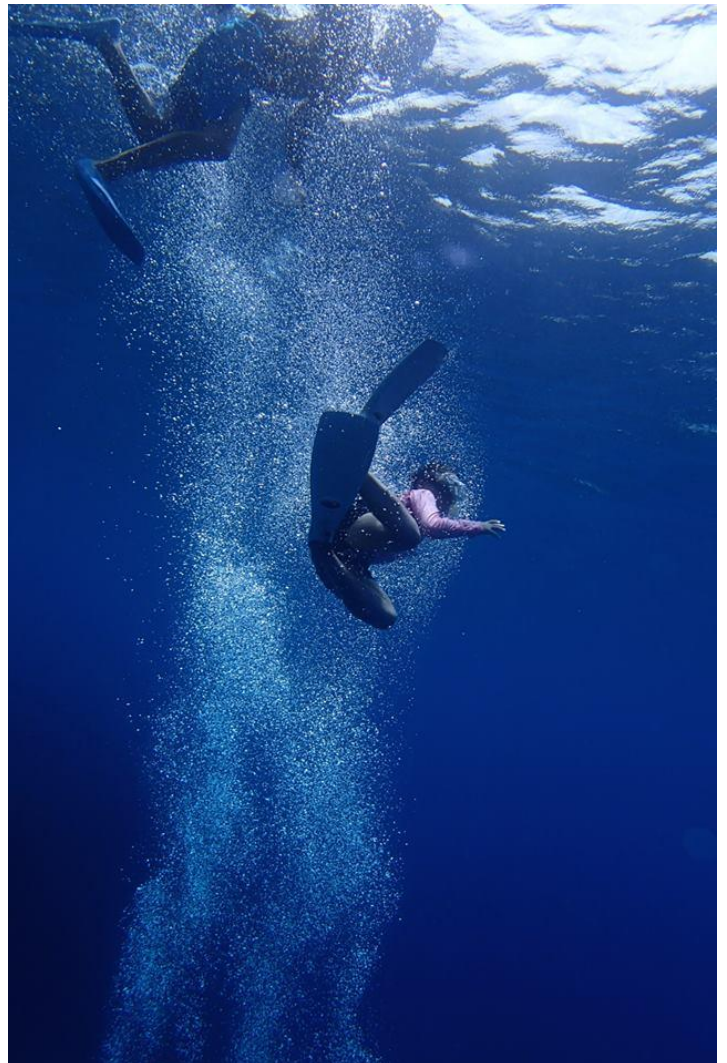
先生がいなければきっと今の私は存在しなかったと思います。

海を通じて海の大切さ、自然の素晴らしさに気づくキッカケをたくさん作ってくれていました。

子どもの頃には贅沢なことにその環境が当たり前すぎて気づかなかったことも、大人になってから恵まれた環境にいたこと、素晴らしい体験をしてきたということにやっと気づきはじめました。

大人になって、シュノーケリング以外にも、SUPをしたりダイビングをしたり、子どもの頃とは違う海の楽しみ方も知りました。

でも、子どものころに三宅島に行っていなかったら、そしてモイヤー先生と一緒に学んだ友人と出会っていなかったら、私は海に対してもっと自分勝手な人になっていたんじゃないかなあ、とよく思います。海で遊ばせてもらっている、自然に対して謙虚であることを言葉ではなく様々な体験を通してサマースクールに教えてもらった気がします。





## われら海洋族

自然は変化していくものです。

毎日見ている海だって日々表情が違うように、三宅島の海だって年間を通してみたら様々な変化があると思います。

それだから毎年来ても新しい発見があるし、メンバーも違えば感じることも変わってくるかもしれません。

今年参加した方は来年も、まだ参加したことない人は是非来年、みなさんと三宅島でお会いできるのを楽しみにしています！

最後になってしまいましたが、毎年楽しくサマースクールが行えるのも島の方の協力があってです。たくさんのサポートをしてくださった島の方々、どうもありがとうございました。



カメの骨を拾ったよ



みんなで見る夕日は格別

☆われら海洋族は、会員みんなで作るページ！原稿大募集中♪

興味のある方は、事務局（☎046-876-2287 ✉info@oceanfamily.jp）までお問合せ下さい。



## 事務局からのお知らせ

今、葉山ではスタンドアップパドルボード（SUP）が人気です。海況次第ではありますが、キッズからシニア世代まで、誰もが楽しめるのもその理由のひとつだと思います。シニア世代の方々にとっては、内転筋（内腿にある筋肉）が鍛えられることで転倒防止につながります。バランス感覚も抜群になります。

中には、ボードの上でヨガをする人もいます。（女性の中で流行中）



### ファミリーSUP チャレンジ！

9/23（火・祝）・27（土）

10/5（日）・13（月・祝）  
・26（日）

11/3（月・祝）・16（日）  
半日プログラム

※オリジナルレッスン受付中♪

### FUN SUP School !

9/27（土）

10/5（日）・25（土）  
11/16（日）

半日プログラム

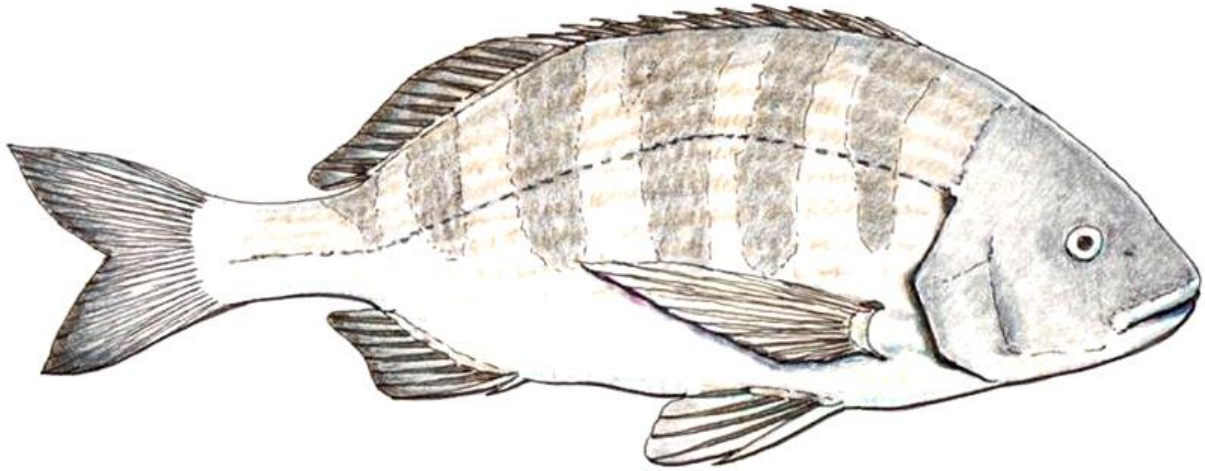
※パーソナルトレーニング

受付中！ 平日でもOK♪



## いきもの便り

### クロダイ



スズキ目タイ科。

浅瀬の岩場などで見ることができるタイの仲間で、大きくなると70cmを超えるものも。

釣りの対象としても人気で、「チヌ」と呼ばれる。

生息域も幅広く、河口から遡上して淡水域まで行くこともある。

食性も多岐で、小魚や貝などのほかに、海藻なども食べる。

2-3歳までの個体は全てオスで、4-5歳から雌性ホルモンの多い個体はメスに性転換する。

### クズ

マメ科クズ属のつる性多年草。

高速道路の脇や、空き地の草を覆う  
つる植物として見かけることも多い。  
葉が特徴的なので見分けやすい。

根から食用の葛粉や漢方薬が作られる。

夏～秋に、紫色の花を咲かせる。

冬には葉を落として地上部が枯れるので、  
つるを編んでクリスマスリースなどに利用できる。



(イラスト・吉田健太郎)



# リーダー・ボランティア募集

2014年9月～11月

開催日	プログラム	参加条件ほか
9/13(土)	葉山マリンキッズ(スノーケリング教室)	集合: 葉山セミナーハウス  対象: 子どもが好きな方・ NEAL(CONE)リーダー・ ライフセーバー・ ダイビングインストラクター・ シーカヤックインストラクター  担当: 津田  ※詳細は事務局まで お問い合わせください。
9/17(水)	おやこえん さざなみ教室(ニッパーボードで波と遊ぼう!)	
9/24(水)	おやこえん さざなみ教室( SUP でのんびり海散歩!)	
9/28(日)	海辺の大運動会 2014 ～海辺で思いっきり体を動かそう!～	
10/4(土)	葉山マリンキッズ(シーカヤック漕艇)	
10/8(水)	おやこえん さざなみ教室(海辺の生きものとふれあおう!)	
10/11(土)	もりのファミリー教室(どんぐり拾いと縄文火起こし、縄文パン作り)・植樹	
10/11(土)	植樹祭(湘南国際村 めぐりの森) 14:00-16:00	
10/15(水)	おやこえん さざなみ教室(シーカヤックを漕いでみよう!)	
10/18(土)	海と森の体験教室ボランティア指導者講座 (シーカヤック安全海洋航行講座)	
10/19(日)	なぎさのファミリー教室(カヌー教室)	
11/1(土)	葉山マリンキッズ(川の生きものの観察)	
11/8(土)	海と森の体験教室ボランティア指導者講座 (スタンドアップパドルボード講座)	
11/9(日)	なぎさのファミリー教室(ビーチハイキングと魚さばき干物作り)	
11/15(土)	もりのファミリー教室(キノコ探しとキノコ料理)	
11/15(土) ～16(日)	海と森の体験教室ボランティア指導者講座 (森林整備と防災教育のための野営講座) 16:00-翌9:00	

## ビーチクリーン(オーシャンファミリービーチクリーンクラブ:OBCC)

10/5(日) 11/2(日)	定期清掃	どなたでも	大浜海岸 (集合: 葉山公園 芝生広場)	10:00～11:30(予定)
--------------------	------	-------	----------------------	-----------------

## Postscript



左はサンゴイソギンチャク、右はアイゴの写真。どちらも葉山近くの海中で撮ったもの。どちらも近年目立つ存在になってきた。サンゴイソギンチャクは伊豆ではお馴染みだが、葉山周辺ではそんなに話題にならなかった。それが今年、群生しているのが数箇所で見られた。アイゴも以前から生息していたが、近年増え、海藻を食べることから、同じく海藻を食べて育つアワビなどの敵として漁師に問題視されている。実際駆除も実施され始めた。毎年変化する海中風景に注目していきたい。(み)



発行者: NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター 〒240-0116 神奈川県三浦郡葉山町下山口1741

TEL: 046-876-2287 FAX: 046-876-2297 E-mail: info@oceanfamily.jp HP: http://oceanfamily.jp/

Copy Right Ocean Family Club. All Right Reserved.